

こっこめ通信 08 2015

「防災対策はしっかりと」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

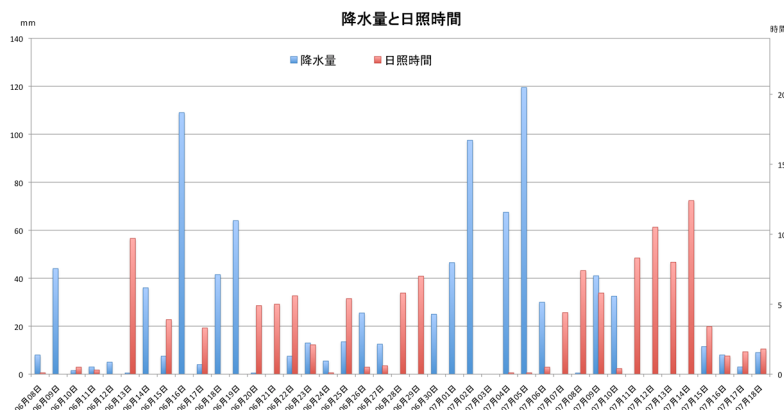
7月上旬から台風のうねりが入り続けて、西側の海水浴場は遊泳禁止の赤旗が続いています。1500km以上離れた位置の台風でもうねりは届きます。ようやく下旬になってうねりが収まりつつありますが、太平洋高気圧の縁を回る南西の風が強く、まだまだ遊泳禁止や遊泳注意が続きます。でも、海からの風は気持ちよく、都会の灼熱ジャングルから遊びに来た観光客の方々は涼しく感じているかも知れませんね。

さて今回は、「台風、梅雨明け、さらに台風」講演会『八丈島の火山』のお話です。

台風、梅雨明け、さらに台風

6月下旬頃から日本の遙か南の雲が騒がしくなり、9号・10号・11号と次々に台風が発生しました。発生当初の長期予報では北上する予報になっていましたが、高気圧が頑張り、伊豆諸島に向かうことなく、西へ西へと遠ざかっていきました。そして台風11号が四国に上陸し、日本海に抜けた翌々日の19日、八丈島を含む関東甲信地方の梅雨明けが発表されました。その頃には日付変更線を越境してきた台風12号も勢力が衰え、熱帯低気圧に変わっていました。しかし、20日には再度勢力が増し、台風へと復活！この時の長期予報の進路は、またもや伊豆

	梅雨入り	梅雨明け	期間 (日間)	総降水量 (mm)	年平均 (%)	日平均 降水量	日平均 日照時間
平年	6月 8日	7月 21日	44	525.1	100	11.9	
2000年	6月 9日	7月 16日	38	587	111.8	15.4	① 3.51
2001年	6月 5日	7月 1日	27	115.5	22.0	4.3	2.37
2002年	6月 11日	7月 20日	40	391.5	74.6	9.8	2.34
2003年	6月 10日	8月 2日	① 54	629	119.8	11.6	2.31
2004年	6月 6日	7月 13日	38	114	21.7	3.0	③ 3.32
2005年	6月 10日	7月 18日	39	506	96.4	13.0	1.85
2006年	6月 9日	7月 30日	② 52	① 924	① 176.0	② 17.8	2.62
2007年	6月 22日	8月 1日	41	719.5	137.0	③ 17.5	2.14
2008年	5月 29日	7月 19日	② 52	③ 721.5	③ 137.4	13.9	② 3.46
2009年	6月 3日	7月 14日	42	383	72.9	9.1	2.01
2010年	6月 13日	7月 17日	35	475.5	90.6	13.6	0.96
2011年	5月 27日	7月 9日	44	376.5	71.7	8.6	2.00
2012年	6月 9日	7月 25日	③ 47	468	89.1	10.0	2.90
2013年	6月 10日	7月 6日	36	456.5	86.9	12.7	1.40
2014年	6月 5日	7月 21日	③ 47	482.5	91.9	10.3	2.81
2015年	6月 8日	7月 19日	⑥ 41	② 893.5	② 170.2	① 21.8	④ 2.95



諸島でした。今度こそ台風対策をしなければと覚悟を決めていましたが、この台風も西へ西へと進み、南大東島から奄美群島、九州北部を通過していきました。7月は台風予報に釘付けで、翻弄されっぱなしでした。

さて、7月19日に梅雨明けした八丈島。今年の梅雨はどんなだったのでしょうか？2000年から今年までの梅雨を比べてみました（左表）。梅雨期間は41日と平年よりは少し短めでしたが、総降水量は約900mmととても多くなっています。その為、日平均降水量は1番多い21.8mmでした。しかし、日平均日照時間は2.95時間と少なかった訳ではありません。そこで、梅雨期間中の降水量と日照時間をグラフにしてみました（左グラフ）。6月中旬や7月上旬に降水量のとても多い日が数回あったこと、晴れた日の朝や夜に雨が降ったこと、梅雨明け前に晴れた日が多かったことなどが、降水量が多くて日照時間も多かった要因と思われます。

今年は全国的にとっても降水量が多くなっています。さらには1月から毎月発生している台風は、これからが本格的なシーズンです。災害を未然に防ぐため、事前の対策などをしっかりとできるようにしておきましょう。また、台風は遠くにあってもうねりなど影響がありますので注意しましょう。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

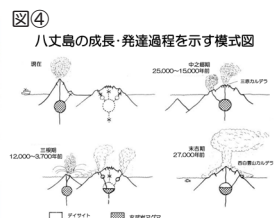
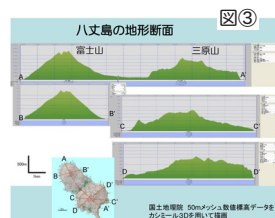
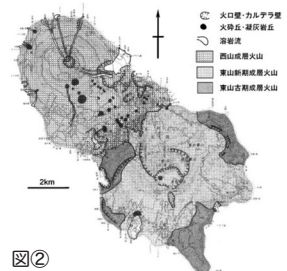
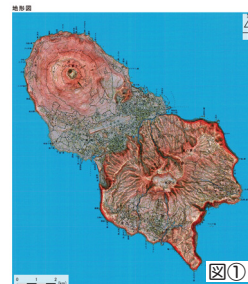
講演会「八丈島の火山」

7月11日、伊豆諸島の火山に詳しい千葉大学教授の津久井雅志博士を講師に迎え、八丈島における噴火や火山防災に関する講演会「八丈島の火山」を開催しました。講演は、「西之島の最近の噴火」や「八丈島の地形・成り立ち」「歴史時代の噴火・2002年の噴火未遂」「噴火のしくみ」「防災に向けた体制」「将来の予測」など盛りだくさんでした。

2013年11月に噴火活動を強めた西之島に関しては、海上保安庁の撮影した映像を交えて噴火の様子などのお話がありました。西之島は海面に出ているのはほんの一部で、山としては3000m以上あり富士山よりも高いそうです。平成27年5月20日現在の面積は2.57km²(暫定値)。ちなみに八丈小島は3.08km²、青ヶ島は4.79km²です。現在も溶岩流の延伸が続いていますが、活動停止後は波の浸食などによって面積は小さくなるようです。

八丈島に関してのお話しでは、八丈島の地形(図①)を見ると、八丈富士(西山)はきれいな円錐状をしているのに対し、三原山(東山)は成長してきた過程が複雑で、かつ古い火山であるため浸食が進み、谷が刻まれています。さらに、火山の形も、1回形成されては崩れ(落ち込み)、さらに別の火山ができるなどを反映して複雑になっています。また活発に成長している火山(西山など)では海岸付近はなだらかで、活動を休止してから長い火山(東山など)は崖が急になっているということです。それは断面図(図③)を見るとよく分かるようです。

島の成り立ちのお話しでは、西山は頂上の火口からではなく山腹から列をなして噴火をおこす特徴があり、空港の山側や南側など現在人が多く住んでいる場所にも火口跡があるそうです。植物公園内の徳里山や旧役場近くの護神山は山腹噴火から噴出したスコリアが降り積もってできた山になっています。図②の黒い点が山腹噴火の場所で、北西・南東方向にできやすいことが分かります。八丈島の形もこの方向に関連しているんですね。



有史以降の火山活動

1487年12月7日	長享元丁未年十一月三日	夜地火吹出シ嶋中大飢饉ス	八丈実記(奥山日記)第六巻410ページ
1518年2月28日	永正十五年戊寅正月九日	神火出ル、五年続テ焼ル	八丈実記(八丈嶋年代記)第三巻440ページ
1522年・1523年	大永二壬午年・大永三癸未年	嶋ノ内大岡郷二有ル富士山煙ル煙人里二掛リ 蚕麦ニアタリ悉ク失ル	八丈実記(八丈嶋年代記)第六巻410ページ
1605年10月27日	慶長十年乙巳年九月十五日	神火出ル三根村ノ田畑多失ル	八丈実記(八丈嶋年代記)第六巻411ページ
2002年8月中～下旬		八丈富士の直下にマグマが貫入したと推測	

津久井先生の講演を参考に八丈実記から抜き出した有史以降の噴火が上の表になります。今から410年前の1605年、西山南東斜面の山腹噴火が最後の噴火になります。しかし、2002年8月の地震活動は島の直下にマグマが貫入したことによるものだそうです。GPSの観測によると八丈島が東に約6cm動き、地震が収まりかけた時に元の方向に3～4cm戻ったということです。地上までの通路があれば噴火に至った可能性もあったかも知れないということです。そこで津久井先生は噴火未遂事件と説明されていました。

2003年、火山噴火予知連絡会は活火山を「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」としました。このことにより三原山と八丈富士を含む八丈島が活火山と呼ばれるようになりました。

また、2015年7月8日、活動火山対策特別措置法の一部を改正する法律が公布されました。今秋までに常時監視対象に50火山が指定される見通しで、この50火山の周辺自治体は火山防災協議会の設置が義務付けられ、自治体は協議会の議論を踏まえ、住民や登山者の避難計画や、噴火による被害が及ぶ範囲を示したハザードマップを作成することになりました。八丈島も常時監視対象火山に指定されるので、火山防災協議会が設置されます。2002年の噴火未遂を考えるとしっかりとした災害対策を島民すべてが知り、備えをしなければいけないのかもしれないですね。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 7 月 12 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 27 年第 7 回） 参加者：茂手木、矢野、沖山、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本		
1	アオツツラフジ	花	1	アカメガシワ	若い実
2	アオノクマタケラン	花	2	イタビカズラ	実
3	アメリカスズメノヒエ	花	3	イヌビワ	実
4	イガガヤツリ	実	4	オオムラサキシキブ	花
5	イヌガラシ	花と実	5	ガクアジサイ	花
6	イワニガナ	花	6	コウゾ	実
7	ウスベニニガナ	花	7	タイミンタチバナ	実
8	ウラジロチチコグサ	花	8	トベラ	実
9	オオアレチノギク	花	9	ハゼノキ	実
10	オオバコ	実	10	ヒサカキ	若い実
11	オニタビラコ	花	11	ヒメユズリハ	実
12	カタバミ	花と実	12	ホルトノキ	咲き始め
13	コケリンドウ	花	13	マサキ	花
14	コゴメガヤツリ	花	14	モチノキ	実
15	コナスビ	花と実	15	モッコク	花
16	シマウチワドコロ	花	シダ植物		
17	シマスズメノヒエ	花			
18	シマボロギク	花	1	イシカグマ	
19	セイヨウタンポポ	実	2	オオイタチシダ	
20	タチスズメノヒエ	実	3	オオタニワタリ	
21	トウバナ	実	4	オニヤブソテツ	
22	トキワハゼ	花	5	カニクサ	
23	ドクダミ	実	6	コハシゴシダ	
24	ニワゼキショウ	花と実	7	タチクラマゴケ	
25	ハルジオン	咲き残り	8	タチシノブ	
26	ヒナギキョウ	花と実	9	タマシダ	
27	ヒメクグ	実	10	ナチシケシダ	
28	ヒメヨツバムグラ	花と実	11	ノキシノブ	
29	フウトウカズラ	実	12	ハチジョウカナワラビ	
30	ヘクソカズラ	花	13	ハチジョウシダ	
31	ヘラバヒメジョオン	花	14	ハチジョウベニシダ	
32	ホソバツルメヒシバ	実	15	ヒトツバ	
33	ミツバ	花	16	ホシダ	
34	ヤマイ	実	17	マツバラシ	
35	ヤマヌカボ	実	18	ワラビ	

今回は、シダ植物 18 種を含む 68 種の植物を観察しました。トラフカミキリが何匹も羽化脱出している現場に遭遇し、じっくり観察することができました。

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ウミネコ」にスポットを当ててみたいと思います



ウミネコ

Larus crassirostris

カモメ科の鳥で、日本とその近海で繁殖します。

八丈島では秋に一時期姿が見られなくなり、1 月頃に戻ってきます。八丈小島や属島の小池根などで繁殖が確認されています。

2015 年 6 月 17 日に八丈小島宇津木での調査時には、抱卵中 1 組、育雛中 13 組を確認しました。写真左は 2015 年に産まれた幼鳥（2015 年 7 月 24 日撮影）です。

2015 八丈ビジターセンター 8 フ로그램カレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
			 この色の日は 特別行事があります			1 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 05:40 00:02 19:07 12:26
2 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」 光るキノコ観察会 06:27 00:44 19:43 13:07	3	4	5	6	 7	立秋 8 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 05:40 00:02 19:07 12:26
9 ガイドウォーク 「植物公園 季節調査会」 光るキノコ観察会 00:05 07:43 15:04 19:47	10	11	12	13 夏休み特別行事 「夏の星空観望会」	14 夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	15 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 05:41 12:14 18:46
16 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 06:16 00:28 19:11 12:43	17	18	19	20	21	22 ガイドウォーク 八文学講座 「台風と島の天気」 光るキノコ観察会 10:26 04:08 21:58 15:44
 23 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「子供クラフト教室」 光るキノコ観察会 12:02 05:15 22:54 16:43	24	25	26	27	28	29 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 04:47 11:25 18:00 23:44
 30 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「子供クラフト教室」 光るキノコ観察会 05:36 12:07 18:34	31					

イベントプログラム

夏休み特別行事 「三原山縦断トレッキング」	夏の恒例トレッキング！三原山を縦断します。標高の高い場所は少し涼しいですよ！ 8/2 (9:30～ 約6時間) 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：500円 定員：20名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 8/9 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
夏休み特別行事 「夏の星空観望会」	夏の 大三角形 など夏を代表する星の観望会です。みんなで ペルセウス座流星群 の数を数えましょう！ 8/13 (19:30～ 約1時間半) 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：20名
夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」	潮だまりに棲む生きものを採集してみんなで観察します。濡れても良い格好で！サンダルは不可 8/14 (10:00～ 約2時間) 小学生と保護者 現地集合・解散（当日決定） 参加費：50円 定員：15名
八文学講座 「台風と島の天気」	毎月行っている八文学講座。今月は、 台風の通り道でもある八丈島、島の天気はどんな特徴があるの？ 8/22 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名
子供クラフト教室 「葉拓アートをやってみよう！」	毎年恒例の子供クラフト教室。 いろいろな葉を使って、魚拓のように形や模様を写してみよう！ 8/23 (13:30～ 約1時間半) 小学生（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名
子供クラフト教室 「小枝でつくろう！」	毎年恒例の子供クラフト教室。公園内で剪定した 枝などを使って動物や昆虫など作ってみよう！ 8/30 (13:30～ 約1時間半) 小学生（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

夏休み特別行事 「光るキノコ無料観察会」	～8/31 (8/4, 5, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 18, 19, 25, 26は休止) 受付時間：19:20～20:00 受付締切は 20:00 です。植物公園メインエントランス集合 無料 NPO 法人八丈島観光レクリエーション研究会等のボランティアガイドがご案内いたします。
-------------------------	---

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2015.8.1 第171号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

「八丈島は噴火しない」島民の誰もがそう思っているかもしれませんが、しかし、津久井先生の講演会を聞いた人たちは、「八丈島は噴火するかもしれない」と危機感を持たれたと思います。「備えあれば憂いなし」。八丈島も火山防災協議会が設置され、しっかりと備えができればと思います。（高）